

新橋地区

基本理念

ぬくもりのある町しんばし

目指すまちの姿

○助け合いのある町

○見守りのある安心な町

○楽しく健やかにすごせる町

○地域の活動を未来につなげる町



第4期計画の取組と成果

【目標1】地域の活動を一緒に行う仲間を増やします。

第3期の活動を継続して実施し、地域の自然に触れ合う「新橋自然観察クラブ」や趣味を活かした活動の「ふれあいサロン寺子屋パソコン」「刃物研ぎ」「竹炭をつくる会」「新橋ホームふれあい麻雀」などを開催した。また、新たな取組として令和5年8月にはいずみ野中学校の生徒や地域ケアプラザ、住民の皆さんが製作した竹灯籠を灯した竹灯籠祭りを開催した。

【目標2】子育て世代から高齢世代まで、多世代が交流できる場を提供します。

「しんばしカフェサロン」「しんばし子育てサロン」「気軽にサロン」「カレーを食べる会」「新橋自習クラブ」を継続して開催した。「コミュニティしんばし食堂」はコロナ禍の状況に応じて食料品配布や配食など、実施方法を工夫して活動を実施した。

【目標3】たくさんの方が健康づくり活動に取り組めるようにします。

「しんばしカフェサロン」では、保健活動推進員や地域ケアプラザと連携し、健康づくりの取組を実施した。また、「ぴんころラジオ体操」は健康づくり活動だけでなく、野菜販売などを通じた交流の場にもなっている。

【目標4】地域の情報を発信し、たくさんの方が参加できるようにします。

「新橋だより」を継続して発行した。より多くの人に身近に手に取りやすくなるように掲載内容を工夫するなど、内容を充実させた。



今後取り組む内容・課題

- ・ 主な活動場所である連合自治会館は近隣に立ち寄って交流できる店舗が多くないため、既存の事業やサロンを交流の場や居場所としての活用ができるか検討し、取組を進めていく。
- ・ 「しんばし子育てサロン」は一度参加した後のリピーターが増えていない状況であり、参加した方に話を伺ったり、情報収集を行う。
- ・ 実施している事業同士のコラボレーションや、参加者に他のサロンや事業の広報周知を行うなど、現在活動している事業を最大限活用した取組を検討して進めていく。